

出雲市の2025年 主なできごと

今年も、いろいろな
ことがありました

飯塚市政2期目スタート

4月に行われた出雲市長・市議会議員一般選挙により、飯塚市政の2期目がスタートし、市議会も新しい顔ぶれとなりました。出雲市にはブランド力、多様な産業、魅力ある自然・歴史・文化、地域の絆など、他に誇れる総合力「出雲力」があります。この



「出雲力」をさらに高め、最大限に活用し、2030年の人口目標17万人台キープと本市の将来像である「出雲力で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」の実現に向けて市政運営に取り組んでいます。

山陰道「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」開通

3月2日、出雲インターチェンジ(IC)から出雲湖陵ICまでの4.4kmを結ぶ「出雲・湖陵道路」と、出雲湖陵ICから出雲多伎ICまでの4.5kmを結ぶ「湖陵・多伎道路」が開通しました。

今回の開通により、県内東部の山陰道が全てつながり、交通の利便性が飛躍的に向上しました。観光振興や人流・物流の活性化、救急医療支援など、さまざまな効果が期待されます。



統合後の小学校で新たな一步

4月から、平田地域で新たに開校した旅伏小学校と佐田地域の須佐小学校でそれぞれ統合後の新たな学校生活がスタートしました。

子どもたちは地域の協力を得ながら新たな環境で学び、それぞれの学校の歴史を刻んでいきます。



出雲市立総合医療センター 健診センターリニューアルオープン

4月1日、出雲市立総合医療センターの健診センターがリニューアルオープンしました。子宮がん及び乳がん検診がワンフロアで検査できる「レディースフロア」を新設し、「更衣室」も移転・拡張しました。あわせて、「AI内視鏡」を導入し、より質の高い健診環境を整えました。

※全ての受検者を対象に「AI内視鏡」を用いるのは中四国で初となります。



出雲市デジタル地域通貨「いつも縁結びPAY」運用開始

2月1日、地域経済の活性化を目的として出雲市デジタル地域通貨「いつも縁結びPAY」の運用を開始しました。7月からは、プレミアム付きデジタル商品券の抽選販売を実施し、また、行政施策の推進や課題解決を図るために行政ポイントの付与も開始しました。

今後も「いつも縁結びPAY」の更なる普及をめざします。



出雲市市制施行20周年

3月22日、「出雲市市制施行20周年記念式典」を出雲市民会館で開催しました。出雲市は平成17年に2市4町が合併して誕生し、平成23年には、斐川町が加わり現在の姿となりました。

「縁結びのまち」という出雲の魅力を最大限に発揮し、市民の皆さんとともにさらなる市政発展をめざしています。



鵜飼コミュニティセンター開所

3月30日、旧鵜飼小学校跡地に移転新築を行った鵜飼コミュニティセンターが竣工しました。

バリアフリー対応のほか、太陽光発電や蓄電池、備蓄倉庫など防災機能も備えた施設となっており、地域の交流や防災の拠点として活用していきます。



トキの初回放鳥候補地に 稗原地区を選定

6月、トキの初回放鳥候補地に稗原地区を選定しました。冬季の餌資源量調査の結果が、国の基準を上回り、年間を通じてトキの餌が確保できると想定されるほか、トキの餌場確保につながる取組をはじめとした地域の協力体制等を考慮しました。

令和9年度(2027)の放鳥をめざし、機運醸成や餌場環境の整備などの取組を進めています。



記録的小雨、火災注意報の発令、 渇水緊急対策事業の実施

今夏は、観測史上、最も早い6月27日に梅雨明けとなり、その後、記録的な猛暑と少雨に見舞われました。

市内では熱中症による救急搬送が多くなったほか、火災が多発しました。

斐伊川の尾原ダム及び稗原ダムでは貯水率が低下したことから渇水調整が行われ、出雲市では農作物への被害防止のため、渇水対策機材等の補助を緊急対策事業として行いました。



Japan Expo Paris 2025 出展

7月3日から6日まで、フランス・パリで日本文化を紹介するヨーロッパ最大級のイベント「Japan Expo Paris 2025」が開催されました。

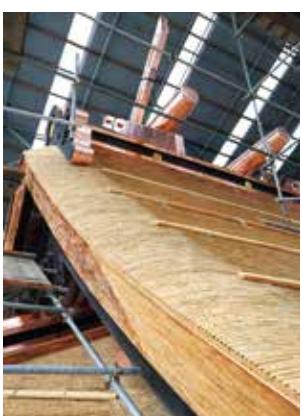
今年は日本の都市を写真と文章で紹介する都市展示「日本散策」の対象に、昨年の大阪に続く7番目の都市として、出雲市が選出されました。これに併せ、市もブースを出展し、来場者に出雲の魅力を伝えました。



須佐神社本殿保存修理工事完了

文久元年(1861年)に建立された須佐神社本殿(島根県指定有形文化財)は、令和6年度から保存修理工事を実施し、10月4日、5日に、屋根の完成見学会が開催され、美しい初葺の屋根が披露されました。

また、須佐神社の鎌倉時代後半の永仁6年(1298)から昭和44年(1969)に至る45点の棟札が、6月の出雲市教育委員会定例会において、出雲市有形文化財に指定されました。



文化・スポーツにおける主な活躍

- 福間香奈さん(出雲市出身)
第18期マイナビ女子オープン(女王戦)に勝利し女流六冠を獲得
- 久保和稀さん(出雲市出身)
エイレーネ芸術賞受賞
- 出雲農林高校
全国高校総体 カヌースプリント 男子カナディアンフォア200m 優勝、500m 準優勝
アジアパシフィックスプリントトカップ2025
・宮原悠煌さん U18 男子カナディアンペア 500m 優勝
・多々納未来さん U16 女子カヤックフォア 500m 準優勝
U16 男女混合カヤックリレー 200m×4 第3位
- 嘉本絵美さん(出雲市在住)
2025年アジアアフリカパシフィック大会 パワーリフティング クラシック部門
一般女子84kg超級 種目別 スクワット第2位 ベンチプレス第3位
ベンチプレスで105kgを挙上し 日本記録を更新
- 福田さくらさん(平田高校出身)
柔道国際大会 ジュニアの部 63キロ級 準優勝

2024年度の出雲縁結び空港利用者数 104万9千人で過去最高を更新

2024年度の出雲縁結び空港の利用者数が、前年度比4.9%増の約104万9千人となり、過去最高を記録しました。観光やビジネス利用の堅調、機材の大型化により増加につながりました。

今後も地域経済や観光振興への貢献をめざし、利用者の拡大に取り組んでいきます。



間島副市長就任

6月27日、新たに間島尚志副市長が就任しました。



就任式では「人口減少や少子高齢化、物価高騰など激動する社会情勢に対して、職員の新しい発想や知恵、工夫が大切になってくる。職員からさまざまなアイデアが出され、積極的にチャレンジできる市役所にしていきたい」と意気込みを語り、副市長2名体制での新たなスタートを切りました。

インターハイなぎなた競技大会開催

7月31日から8月3日まで、出雲だんだんとまとアリーナ(出雲市総合体育館)で、令和7年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)なぎなた競技大会が開催されました。

本大会には、出雲北陵高校なぎなた部から5名の選手が出場し、個人の部で安田結衣選手が5位入賞を果たしました。



また、市内8校の高校生が、島根県高校生活動なぎなた競技推進委員会を立ち上げ、大会PRやおもてなしの企画・運営に積極的に取り組み、大会を盛り上げました。

いずもデジタルスタジオ開所

11月20日、デジタル人材の育成拠点として出雲科学館2階に「いずもデジタルスタジオ」を開所しました。

eスポーツ、プログラミング、スマートお悩み相談などの世代別各種デジタル教室等を開催し、市民の皆さまがデジタル技術を気軽に学ぶことができる環境を提供していきます。



- 伊藤蒼唯さん(出雲市出身)
日本学生個人選手権 男子10000m 優勝
第57回全日本大学駅伝 駒沢大学優勝、5区・区間1位(区間新記録)
- 柳斗真さん(河南中学校)
第56回U16陸上競技大会 男子150m 優勝
陸上100mで中学男子23年ぶり山陰新記録を更新
- 北村陽菜さん(斐川西中学校)
令和7年度全日本少年少女武道(なぎなた)錬成大会 試合競技
中学生2年生の部 優秀選手(第1位)
- 石飛涼子さん・高田彩さん・安喰愛さん(出雲市在住または出身)
第79回国民スポーツ大会 なぎなた成年女子試合競技 優勝
- 三島きりさん(出雲市出身)
第79回国民スポーツ大会 空手道成年女子形 優勝
- 玉木純さん(出雲市在住)
第24回全国障害者スポーツ大会 女子走高跳 優勝
- 藤原大地さん(出雲市在住)
第24回全国障害者スポーツ大会 ボッチャ プールM 優勝